**Title of Presentation:演題は2行以内をめどに設定してください。16pt\_Bold**

○第一発表者1、第二発表者2、、、演者に○、所属は上付数字で対応つける

（所属は薬学会標準の略号でカッコに入れて記載。1日本大•薬、2東京大•薬）

E-mail: author@symposium.or.jp 　演者所属のフォントサイズは14pt



**1. 背景と目的**

セクションタイトルはアラビア数字の通し番号をつけてください。1. 背景と目的、序論、はじめに、緒言など、セクションの分け方や構成は任意です。標準的な構成は、1. 背景と目的、2. 方法、3. 結果とまとめ、4. 謝辞、5. 引用論文という構成です。セクションタイトルは12ポイントBoldフォントをお使いください。

本文フォントのサイズは10.5ポントとし、英文はTimes New Roman、和文はMS-明朝とその類似フォントを標準フォントといたします。その他必要に応じて、適正なフォントをお使いください。余白は左右20 mm、上下 25 mmとしてください。余白の大きさと本ページ上部のタイトル部分の書式は変えないでください。

**図-1 Fontの埋め込み**

　作成したPDFをAcrobat Readerで開き、「ファイル」メニューから「プロパティ」を開き、「フォント」の部を見るとき、フォント名に埋め込みサブセットと表示されればOKです。

。

要旨はPDFファイルとして提出してください。それ以外の書式で提出を希望する場合は、実行委員会へお申し出ください。PDFにはフォントの埋め込みをしてください。フォントが埋め込めたかを確認する方法は図-1を参考にしてください。

**2. 方法**

特別講演、記念講演ならび招待講演の場合、要旨の長さには制限はありません。一般講演の場合2ページです。

**3. 結果とまとめ**

文献引用の書式は自由です[1]。提出いただいたPDFはそのまま要旨集になりますので、レイアウトのズレなどは最後によくご確認ください。要旨の提出はメールにファイルを添付して　52sympo＠qsarj.org　あてご送付ください。

**4. 謝辞**

要旨原稿の締め切りまでの投稿をお願いいたします。また和文要旨だけでなく英文の要旨もお忘れないよう、お願い申し上げます。

**5. 参考文献**

1. XXX, YYY, *Journal* **vol**, page-page (year),

2. Yoshida K, Okina T. *Koten Bunngaku* **10**, 987-998 (1230),